

1. 目標と取り組み内容

①訪問介護

（目標）

「在宅生活の利用者様が1日でも長く住み慣れた家で生活できるように家族様や各事業所との連携をとり、情報交換を行います。曜日時間にこだわらずサービス、相談ができる体制をとります」

（取り組み）

ヘルパーには、利用者の日々の変化に注意し、普段と違った些細なことでも報告してもらうようにしており、適宜、ケアマネジャーや家族・事業所に連絡しました。そのことにより、サービスの内容を変えたり、病院受診等に繋がり適切なサービス提供ができたと考えています。

②予防訪問介護

（目標）

「利用者様の体調を見ながら、できることはして頂きにくいところの手助けを行うことで、長期間に在宅での生活が続けられるように自立支援につなげていきます。」

（取り組み）

今年度は長期間入院する方や、体調が悪化し亡くなられる方が数名いました。要支援の方ということでお元気である、しっかりされているとの思い込みから、要介護の方に比べて体調を気にせず、利用者様から相談があれば聞きアドバイスするぐらいでしたが、支援の方にも適切に体調管理を行う中で、適宜、家族等に報告する必要があると考えています。

③障がい

（目標）

「精神不安のある利用者様も多くなっている為、なるべく固定のヘルパーを派遣し安定感を与えることで信頼関係を作ります。他事業所とのかかわりが多くなっている為、メーリングリスト等を活用し情報の活用化に努めます」

（取り組み）

相談員や事業所交流会で知り合ったケアマネジャーからの紹介で新規利用の方が増加しました。しかし、体調の悪化から入院され、その後施設入所や長期入院された方もいます。サービスを利用している方の中には、精神的不安から毎週サービス提供できない方もいる状況です。また、週に数回サービス提供する方へのヘルパーの固定化も、逆に依存という問題やヘルパーの精神的な負担もあり、相談員と話し合う中で決めている状況です。

2. 利用者数等

①利用者数（延人数）

【訪問介護】

	平成26年度	平成27年度	増減
男性	55 人	61 人	+ 6 人
女性	286 人	242 人	- 4 4 人
合計	341 人	303 人	- 3 8 人

【予防訪問介護】

	平成26年度	平成27年度	増減
男性	93 人	83 人	- 1 0 人
女性	182 人	206 人	+ 2 4 人
合計	275 人	289 人	+ 1 4 人

【障がい】

	平成26年度	平成27年度	増減
男性	104 人	258 人	+ 1 5 4 人
女性	550 人	482 人	- 6 8 人
合計	654 人	740 人	+ 8 6 人

②利用者の地域内訳

	介護		予防	
	実人数	内、 ケアハウス	実人数	内、 ケアハウス
石井・久谷	1 2 人	4 人	1 4 人	4 人
城西・勝山	5 人	1 人	1 1 人	
桑原・道後	1 人		2 人	
西	2 人		1 人	
東・拓南			1 人	
小野・久米	1 人		1 人	
松前	1 人	1 人	1 人	1 人
合計	2 2 人	6 人	3 1 人	5 人

3. 収入状況

平成27年度の介護は、利用人数が減少していますが、利用回数が多い方や報酬単価の高い身体介護の利用が増加したことにより収入増となった。

予防は、利用人数は増加していますが、新規利用の方は週1回利用が多く、また週3回利用されている方の長期入院が数名いたことにより収入減となった。

平成26年度の障害は、報酬単価の高い職員2人体制での長時間の重度訪問があったが、26年度中に利用中止となったため、平成27年度は収入減となった。

【対前年度実績】

(単位：円)

	平成26年度	平成27年度	増減
介護	11,884,410	12,471,220	+586,810
予防	5,215,176	4,888,790	-326,386
障害	9,531,320	2,564,397	-6,966,923
合計	26,630,906	19,924,407	-6,706,499

4. 年間行事等

月	行事	ヘルパー会
4月		事業計画の報告・今年度の個々の目標
5月		接遇研修
6月		食中毒に対する対応
7月		熱中症対策について
8月	夏祭り	
9月		排泄介助
10月		口腔ケア
11月		
12月		感染症・インフルエンザ 介護福祉士実技指導
1月	法人研修(転倒事故予防対策事例報告)	嘔吐物の処理方法について 介護福祉士実技指導
2月	法人研修(困難事例の検討・発表)	緊急時の対応
3月	施設外研修(障がい者虐待)	今年度の反省・振り返り